

船舶事故調査報告書

平成29年11月15日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成29年1月28日 12時51分ごろ
発生場所	兵庫県姫路市姫路港広畑区 広畑東防波堤灯台から真方位345° 1.2海里付近 （概位 北緯34° 47.0′ 東経134° 37.3′）
事故の概要	貨物船 ^{てんま} 天馬丸は、着岸作業中、岸壁に衝突した。
事故調査の経過	平成29年7月3日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 天馬丸、734トン
船舶番号、船舶所有者等	142275、有限会社正徳汽船、大旺海運有限会社
乗組員等に関する情報	船長、四級（航海）
負傷者	なし
損傷	本船 船首部船底外板に擦過傷、左舷船尾部外板に破口を伴う凹損 岸壁 コンクリート部の一部に欠損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 ほぼ高潮時
事故の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、姫路港広畑区の広畑岸壁に入船 左舷着けすることとし、約5ノットの対地速力で北西進していた。 本船は、広畑岸壁まで約200mに接近したところ、船長が、同岸 壁北側の海中に敷かれた捨て石に接触する危険を感じ、機関を全速力 後進にかけたものの、船首部の船底が捨て石に接触した後、後進行き あしの状態で左舷船尾部が同岸壁に衝突した。 船長は、救急車で病院に搬送されてインフルエンザ（流行性感冒） と診断され、高熱の影響で注意力が散漫になったものと本事故後に思 った。
分析	本船は、着岸作業中、船長が、流行性感冒に罹患して注意力が低下 した状態で操船に当たり、広畑岸壁まで約200mに接近して機関を 全速力後進にかけたことから、船首部の船底が捨て石に接触した後、 推進器の作用により後進行きあしの状態で船尾が左舷方に押され、左 舷船尾部が同岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、着岸作業中、船長が、流行性感冒に罹患して注 意力が低下した状態で操船に当たり、広畑岸壁まで約200mに接近 して機関を全速力後進にかけたため、船首部の船底が捨て石に接触し た後、推進器の作用により後進行きあしの状態で船尾が左舷方に押さ れ、左舷船尾部が同岸壁に衝突したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え

られる。

- ・体調不良の際は、操船に従事することを控えること。